逆瀬台小学校　田上校長先生　着任ご挨拶

宝塚市立逆瀬台小学校
校長　田上　裕一

この春より、髙木浩志校長の後任として、宝塚第一小学校より逆瀬台小学校校長に着任いたしました田上裕一（たがみひろかず）と申します。どうぞよろしくお願いします。

逆瀬台小学校の一日は、子どもたちの元気な挨拶で始まります。低学年の子らを気遣いながら坂道を歩いてくる高学年の姿やその高学年の声がけを素直に聞く低学年の姿が見られ、「逆瀬台っ子」の暖かさや優しさを感じています。このような子どもたちの姿が見られるのも、ゆずり葉コミュニティの皆様方のご支援とご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

子どもたちの健やかな成長を願っておられる心温かい逆瀬台の地で、学校の果たすべき役割と責任を重く受け止めています。本校の伝統を大切にしながら、地域の皆様から信頼される学校づくりを進めてまいります。

本校の学校教育目標は
「たくましく　やさしく　あかるい　逆瀬台っ子の育成」です。

学校では、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むことを目指しています。特に、学校という社会集団の中では、子ども同士のケンカなどのトラブルはつきものです。自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる「豊かな心」を育てるために、温かい言葉、やさしい言葉、思いやりのある言葉があふれる学校にしていきたいと考えています。そして、子ども一人ひとりを「褒めて」「認めて」「勇気づけて」、子どもたちには、互いに認め合い励まし合いながら、人を思いやることや感謝することの大切さを行動で表わすことのできる力をつけてほしいと願っています。

新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、全校児童２８０名の「逆瀬台っ子」が、笑顔いっぱい、元気いっぱいの学校生活が過ごせるように、教育活動のさらなる充実を図ってまいります。

今後も、ゆずり葉コミュニティの皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

「ゆずり葉」が語る地域の歴史文化（1）

（今回から六回に渡り島田先生に連載をして頂きます。）

「ゆずり葉」の表記と名前の由来

前・逆瀬台小学校教諭　島田佳幸

「ゆずり葉」が語る地域の歴史文化…初回は「ゆずり葉」の表記と名前の由来を、寺井泰明氏（桜美林大学）の論考に基づき紹介します。

平安時代の古典『枕草子』第十二段には「峰はつるはの峰。あみだの峰」などとあり、前田家本では「ゆつるはのみね」と著しています。『倭訓栞（わくんのしおり）』という書物においては「ゆつりの葉の岳 ハ攝津國　武庫ノ郡にあり 枕草帋（枕草子）に見ゆ」と記しています。さらに元禄14年刊の岡田徯志撰『摂陽群談』巻第三の文中には、「川邊郡小林村の後にあり、所伝云、此山嶽杜葉（ゆづりは）多く有て、元朝の飾り、市中に出して商之。」「同郡伊刀志村にあり。所伝不詳。於于是讓葉瀧（ゆづりはたき）あり。其部に比す。」とあります。付近一帯にゆずり葉が自生していたことから、山名や滝名として名付けられたようです。また、ゆずり葉を正月の飾りとして、商っていたことがわかります。

植物としての「ユズリハ」は、春先に若葉に葉を譲ることから、「譲葉」の漢字表記もみられます。別名「正月木」とも呼ばれ、常若、永代繁栄の縁起を担ぎ、迎春の賀物として用いられるのも頷けます。また、葉の主脈が太く弓に似ていることから、弓弦葉（ゆずるは）の名がついたとも言われます。万葉集では、「弓絃葉」および「由豆流波」、枕草子では、「譲る葉」と記されています。「延喜式」には、供新嘗料（くにいなめりょう＝宮中祭祀である新嘗祭の供物）として、弓絃葉一荷の記録があります。

「ゆつるは」「ゆつりの葉」「譲る葉」「杜葉」「楪」「弓絃葉」「由豆流波」「ユズリハ」…多種多様な表現に当時の人々の願いや想いも偲ばれます。「ゆずりは」の名は、古来に遡り平安時代の文学にも由来すること…地域の歴史文化の深みを感じさせるこの頃です。次号では、さらにゆずり葉に関わる歴史的背景に迫って解説していきます。どうぞ、お楽しみに！

注）本連載は、「地域史研究第120号（尼崎市立歴史博物館刊）」掲載の拙稿『校章・校歌が語る学校の歴史文化』の一部を抜粋した内容で再構成しています。詳細や執筆の参考とした資料名は、同博物館のウェブサイトにある原本を参照して下さい。

逆小ドラゴン活動報告

今年度は逆小ドラゴン設立30周年の節目のです。卒団したＯＢが時折顔を見せに来てくれたり、コーチになってくれたＯＢがいたり、我が子が卒団してもコーチとして残ってくれている保護者がいたりと、逆小ドラゴンは様々な世代が集う少年野球チームです。

子供たちが野球を通じてその技術とともに、健全な心身・協調性・使命感・責任感・連帯感を養ってくれることを願い、今後も活動を続けていく所存です。応援よろしくお願いします。

卒団式

３月７日の卒団式では逆小ドラゴンを巣立つ５名の選手を送り出しました。中学生となった彼らは、それぞれの場所で野球を続けており、これからの活躍が楽しみです。

卒団式

新チーム始動

昨年秋のちびっこ野球大会に体験生として参加してくれた６名の子供たちが入部してくれました。新入部員が加わり、新チームは元気に活動をスタートしています。Ａチーム（高学年のチーム）は新人戦、西日本大会、春季大会と試合に出場。試合に向けての練習、試合後の反省を繰り返しながら、日々成長しています。

新人戦

体育功労者賞受賞

授賞式

長年にわたり逆小ドラゴンの子供たちを指導してくださる梅田浩コーチ（59）・平田幸夫コーチ（57）が、宝塚市体育協会の令和３年度体育功労者賞を受賞されました。この賞は各団体の発展に貢献し市民スポーツの普及振興に功績がある方々に贈られる賞です。栄えあるご受賞、おめでとうございます。

野球体験会

年長さん体験会

初めての野球を逆小ドラゴンで体験してみませんか？身近に野球に興味のあるお子さんがいましたら見学・体験を随時受け付けていますのでご紹介ください。

入学前のお子さんの参加も可能です。不定期ですが体験会も行っています。

「スポーツクラブ21ゆずり葉」逆小ドラゴン
問合わせ　TEL　73-5530　杉野